

辻井タカ子後援会だより

2011年
8月

第176号

辻井タカ子のホームページアドレス
<http://www.t-takako.jp>

発行者：日本共産党富木島後援会
連絡先：堀本：604-5820
：辻井：604-7914



辻井タカ子議員の報告

地震国日本に原発が広まったワケ

東京電力福島第一原発事故による放射能汚染は、牛肉、稲わら、腐葉土にまで及び、流通によって広範囲に汚染が確認されています。この間の政府の対応は、後手後手で、人体への影響がないか恐怖を感じています。

なぜ、こんな危険な原発を推進するのでしょうか。ここにも政・財界の癒着があります。原発は、1基つくるのに5千億円と言われるビジネス市場で、電力会社、原発メーカー、大手ゼネコン、鉄鋼、セメントメーカー、大銀行と原発推進の政治家、特権官僚、御用学者、そして一部のメディアが、巨額の利益をむさぼる構図が出来上がっています。ここにメスを入れなければなりません。

日本共産党は、大手メディアが、電力業界に買収され、巨額の広告代を受け取り、原発の危険性を記事にしなくなったことを指摘しており、原発事故が起こった当日には、東電の勝俣会長が、マスコミ幹部を引き連れて中国旅行をしていたことは知られています。また、今度は、九州電力の「やらせメール」を赤旗がすっぱ抜きました。

なりふり構わない原発業界に批判が高まっていますが、東電の昨年度の広告宣伝量はなんと116億円。さらに、税金から出されている原子力広報費・教育予算は毎年60億円規模です。税金を使って、子どもたちに原発は安全・必要不可欠と教え込まれたらたまりません。

原発事故の教訓は、「原発に頼らない社会」をつくることではないでしょうか。自然エネルギーに転換し、子どもたちに緑豊かで安全な社会・自然を残したいと思います。ご一緒に頑張りましょう。

私の故郷（京都府丹後）でも30数年前から原発の計画があったのです。それが5年前に、関西電力から市長に「計画は中止に決定した」と伝えられたそうです。これには粘り強い住民運動があったと思います。故郷のみなさんの良識に心から拍手の気持ち一杯です。

日本で一番危険な箇所が観光地？



「浜岡原発の永久停止・廃炉を求める静岡県民集会」に参加しました。福島の女性の「将来子どもが生まるかしら」と放射能汚染を危惧する声が届けられ胸がつまりました。5,000人の参加者は「要らない、なくそう浜岡原発！」と市民にアピールしデモ行進しました。



帰りに浜岡原子力館に寄り、発電の仕組みや構造を映像と実物大の模型で説明がありました。3.11以後は観光客が多くなったとか。

ま

・「東海市の歴史と自然に親しむ会」主催の原発学習会に参加しました。難しいことをとっても分かりやすく説明されよく理解出来ました。日本は不思議な国。こんなに危機感の無いのはどうしてなのでしょう。外国ではいち早く原発やめようと言いだしたのに。

暑中お見舞い申し上げます

実現しました



伏見4丁目の根越公園はコ
ンクリートがむき出しになっ
て危険でした。要望を聞いた辻
井タカ子議員は市に交渉し、砂
を入れ、安心して遊べるよう
になりました。

新病院
白紙署名の
その夜

9月12日午後臨時
議会が西知多医療厚生組
合の臨時議会が開かれる
予定です。そこに白紙撤回
請願書を提出する準備を
しています。そこでの審議
に期待していきましよう。

